

科目名	中国文化論	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	佐藤 若菜		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-2-330007	国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること			
授業の目的	現代中国における文化の諸相を、歴史的・政治的背景を踏まえて理解する力を身につける。毎回の講義では、中国文化に関わる問いを投げかけます。学生が、それに対する考えをコメントペーパーに記述するといった課題解決型の授業形態を採用します。				
学修到達目標	歴史や政治を踏まえて中国文化に関する知見を深め、自身の文化と比較しながら理解する力を身につける。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	ガイダンス 中国語とはなにか
第2回	映画にうつしだされた清朝末期の記憶
第3回	中国における近代化と魯迅

第4回	日中戦争を描いた中国映画
第5回	毛沢東時代と人々の生活①
第6回	毛沢東時代と人々の生活②
第7回	中国の歴史と京劇
第8回	第五世代の映画
第9回	中国の政治と現代アート
第10回	台湾の歴史と日本統治時代を描いた台湾映画①
第11回	台湾の歴史と日本統治時代を描いた台湾映画②
第12回	香港の歴史とレスリー・チャン
第13回	華人の歴史とテレサ・テン

第14回	中国における少数民族の位置づけと民族衣装
第15回	中国農村部の生活 小テスト レポートの書き方について
第16回	レポート

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。教科書を熟読する。
【復習】時間・内容	2時間。授業ノートを再読し、関連資料を調べる。

成績評価	
評価基準・方法	レポート (50%)、小テスト (25%) とコメントパーパー (25%) により評価する。
フィードバック方法	毎回、授業の最後にコメントパーパーを配布・回収し、次の授業の冒頭で質問等に答える。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	PBL（課題解決型学習）

教科書/参考書	『中国現代文化 14講』（中国モダニズム研究会、関西学院大学出版社）
受講上の留意点等	特になし
JABEE	